

お米・ごはんに関わる仕事人の紹介！

◆ 小竹 道太 様

ソニーピープルソリューションズ
株式会社 ワークプレイス部
担当部長

(お写真 右)

小竹様とご一緒にソニー本社の
社員食堂でいただきました！



Q お仕事の内容について教えてください

→ソニーグループ社員の働きやすい場を作る部署となります。単に場所というハードを作るだけでなく、その場所をどのように使ってもらうか、運用はどうするかというソフト面もセットで考える必要があります。私はその運用等のソフト面を担当しています。社員食堂がどのように社員に喜んでもらえる場所になるかという点を運営会社さんと一緒に企画等を行っています。

Q (実際に食堂を案内いただき) ビルの1フロアを使った開放的で広々とした空間がとても印象的な食堂でした。大変多くの利用者数と伺いましたが、どれくらいでしょうか？

→食堂は1200席あり、1日の利用者はお昼で約2500人です。社員全体での食堂利用率も7割ほどで多くの社員が利用しています。

Q 多くの利用者がいらっしゃるとのことでご苦労されることも多かったのではないのでしょうか。

→利用時間を分散させるため、入居フロア等でシフトを組んでいるのです

が、やはり 12:00 前後は利用が集中して非常に混雑してしまいます。
提供スピードを速めるための丼物等のクイックメニューや、一つのメニューに集中しないような魅力あるメニュー構成等を運営会社さんと検討しています。

**Q 利用社員方々が全て同じ勤務形態や勤務時間帯ではないと思います
御社食堂を利用する社員の方々は、どのような勤務形態でしょうか？**

(Day タイム、早朝型、午後から型、テレワーク型など)

→コロナ禍によってテレワークが急速に進むなど、出社せずに仕事をするスタイルが普及しています。

ソニー本社の昼営業時間は 11:20~13:30 ですが、この時間帯以外は、
カフェで焼き立てパン等を提供しており、多様なワークスタイルに合わせて食堂利用ができます。

また、食堂利用時間外は打合せやワークスペースとしても利用が可能です。

**Q 多様な食事を提供される御社が、朝食におにぎり定食始められた契機は？
また利用されている社員さんはどのような方々でしょうか？**

→過去は、朝食は忙しい朝にしっかりとご飯を食べてほしいという思いから、手軽に食べられるおにぎりに取り組みました。おにぎり 2 個に豚汁をつけてセットで 300 円程度で提供しており、朝から安くしっかりと食べられると朝食派の皆さんからは人気をもらっていました。

コロナ禍を契機に、パンとコーヒーの提供を行うカフェ営業のみとなっていますが、出社も戻りつつありますので、朝食需要もあると感じており、ゆくゆくは朝食のおにぎりも再開させていきたいと思っています。

**Q 社員食堂を運営するにあたって、社会変化などに伴い利用者ニーズ
なども変化してきていると思いますが、どのようにご対応されていますか？**

→テレワークが進み、自宅でも仕事ができる環境が整っている一方で、対面でのコミュニケーションが希薄になっていることが課題と捉えています。

ランチミーティング用の場所と特別メニューを用意し、入社した際の職場内コミュニケーションのきっかけとなるような場作りを行っています。

**Q 最後に小竹様が描く理想の社員食堂像について
教えていただけませんか**

→社員食堂は“食事をする場所“から、“社員同士のコミュニケーション“の場に変化させたいと考えています。食事時間帯以外でも社員が利用しやすい環境とする事で、他部署との偶発的なコミュニケーションが生まれ、新しいアイデアのきっかけとなる、そのような場になる事が理想です。
また、コミュニケーションが気軽に取れる美味しい社員食堂があることで、優秀な人材がソニーグループの仲間になってくれる一助になればと思っています。